

もこの5都市区部では東京都区部、千葉市、横浜市、名古屋市、岐阜市の順です。

岐阜市民にとっての「喫茶代」の位置づけを知るために、外食費に占める「喫茶代」の割合を計算してみよう(表3)。岐阜市は7.3%と、この5都市区部の中で一番割合が高くなっています。次いで名古屋市、千葉市、横浜市、

表1 都道府県庁所在地及び政令指定都市別 喫茶代の1世帯当たり年間支出額ランキング

順位	地域区分	喫茶代(円)
1	東京都区部	15,566
2	名古屋市	14,897
3	千葉市	14,523
4	横浜市	13,597
5	岐阜市	13,536

引用：総務省「家計調査」

表2 都道府県庁所在地及び政令指定都市別 飲酒代の1世帯当たり年間支出額

地域区分	飲酒代(円)
東京都区部	34,911
名古屋市	18,525
千葉市	23,137
横浜市	22,060
岐阜市	10,055

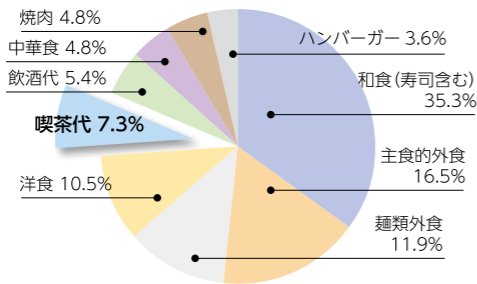
引用：総務省「家計調査」

表3 都道府県庁所在地及び政令指定都市別 外食費に占める喫茶代の割合

地域区分	割合(%)
東京都区部	5.8
名古屋市	6.9
千葉市	6.6
横浜市	5.9
岐阜市	7.3

引用：総務省「家計調査」

図1 岐阜市における外食費の飲食カテゴリー別支出動向



引用：総務省「家計調査」

東京都の順となりました。「喫茶代」は5位でしたが、外食に占める「喫茶代」の割合が高いことから、「喫茶代」にお金をかけていることが分かります。さらに地域によって物価が異なると考えられるので、地域別価格物価の比較とみると、「小売物価統計調査」(6月)、

2年前の調査ですが、十六総合研究所が岐阜県、愛知県、全国の消費者を対象に「喫茶店・カフェの利用に関する消費意識調査」を実施しています。この結果、喫茶店・カフェによく行く人は約4割と岐阜県も愛知県も全国と同じです。年代では、岐阜県と愛知県は20代が高く、50代が低くなっていました。コメダ珈琲、星野珈琲店などの喫茶店チェーンや、個人経営の喫茶店・カフェへ行く人の割合が全国よりも高く、モーニングが目的の割合は全国の2倍超、モーニングの平均支払い金額は全国を上回っているとの結果でした。「家計調査」で最も「喫茶代」が低いのが青森市の4,432円でした。岐阜市の約1/3です。最近値段が高くなっていますが、コーヒー代を500円として、岐阜市の人は月2回、青森市の人は年8回行っている計算となります。も

1位横浜市、千葉市が12位、名古屋市が19位、東京都区部が36位、岐阜市は39位です。これからも岐阜市はこの都市区部の中で、最も物価が低いことが分かります。つまり喫茶代が低いのは物価が低いことがその理由の一つであると考えられます。

岐阜大学では、学生・教職員の学習・研究活動の拠点である図書館内に、新たな憩いの場として喫茶店の誘致を検討しています。より快適な図書環境づくりにご協力いただける事業者がいらっしゃいましたら、ぜひお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
岐阜大学図書館
〒501-1193 岐阜市柳戸1-1
TEL: 058-293-2191

岐阜市は文化の振興を図るために、市内の喫茶店や県の喫茶組合が協議会を4月に設立しました。後継者不足と若い世代への浸透不足が課題とのこと。学生はお金がないのに、特に試験前は大学近くの喫茶店で勉強しています。大学の図書館や家で勉強すればいいの。と思います。きつと誰かに見守ってほしいのかな。なので、岐阜大学の図書館にも喫茶店を作りたいと思っています。出店してくださる方、図書館長の私までご連絡ください！岐阜県の文化振興に協力したいです!!

つと行っていると感じる人もいるかと思いますが、これは平均値なので。ちなみにモーニング発祥の地の一宮市は、「家計調査」の対象が県庁所在地なので入っていません。



岐阜市民は 喫茶店が大好き

岐阜市の喫茶文化の始まりは、大正時代にまで遡ります。大正8年に柳ヶ瀬で開催された内国勤業博覧会でブラジル珈琲が提供され、それをきっかけに、珈琲を扱う店舗が増え始めたと言われていいます。戦後焼け野原となった柳ヶ瀬にも、喫茶店はいち早く復活。「音楽喫茶」などの娯楽性を兼ね備えた店などが人気を集め、復興を目指す人々の生活に潤いと活力をもたらしました。

時代が令和の世になった今も、岐阜市民の喫茶代支出額は常に全国トップクラス。今月号では、そんな岐阜市民の「喫茶愛」のDNAを、岐阜在住31年、岐阜大学副学長の大藪千穂先生に分析していただきます。



お答えします 岐阜市民の喫茶代は 永遠に不滅です！



岐阜大学副学長

大藪 千穂

京都市生まれ。1994年～岐阜大学教育学部助教授(家政教育講座)を経て現在、岐阜大学教育学部教授(兵庫教育大学大学院連合学校教育研究科教授を兼任)。2021年より副学長(多様性・人権・基金・広報・図書館長担当)。専門は家庭経済学・環境とライフスタイル論(アーミッシュ研究)。

土日の朝になれば喫茶店はどこも満員です。「コーヒーとパンなら家で食べた方が断然安い?」と感じるのは岐阜人ではないですね。モーニングは、お得というだけでなく、あの空間・雰囲気・時間が大事なのですね。

岐阜に来て31年があつという間に経ち、京都にいた時間とほぼ同じ時間を過ごしているのが、岐阜人になったと自負しています。出張で他府県に行くと、モーニングの量が少なく、しかも値段が高く、「これがモーニング??」と普通に疑問に感じるようになりました。さて、そんな岐阜市の喫茶代は日本1位を4年連続獲得していましたが、なんと昨年度は5位になってしまいました。これは一大事。一体、何が起きているのでしょうか。

世帯あたりの「喫茶代」の支出額を見てみましょう。「家計調査」では、外食費は「一般外食」と「学校給食」に分かれており、「一般外食」は、「食事代」、「喫茶代」、「飲酒代」の3つに分かれています。その「喫茶代」で、全国の県庁所在地と政令指定都市で5位となり、5年連続日本一を惜しくも逃してしまつたことを残念に感じられた方も多いいのではないのでしょうか。

岐阜市の「喫茶代」は年間1万3,536円でした(表1)。1位は東京23区の1万5,566円、2位が名古屋市1万4,897円、3位千葉市1万4,523円、4位横浜市1万3,597円。ただしこの5つの都市区部の中で、岐阜市以外は「喫茶代」と「飲酒代」を比較すると表2、「飲酒代」の方が高いのに対して、岐阜市の「喫茶代」の方が高く、喫茶文化が伺えます。ちなみに岐阜市の飲酒代は約1万円です。「食事代」の順位

*十六総合研究所 喫茶店・カフェの利用に関する消費意識調査 (2023年10月27日) <https://www.16souken.co.jp/assets/202310/fa16c04529c4a1aecd27d6ea226e2fe36e1e34cb.pdf>



大藪先生ありがとうございました。
岐阜市民の喫茶好きは筋金入りみたいです。

岐阜県と岐阜市では様々な取り組みが行われています。
その一部をご紹介します。

岐阜県

10月18日(土)から21日(火)に開催する「ねんりんピック岐阜2025」の県民運動として、「ぎふモーニングプロジェクト」を推進中です！

● ぎふモーニングスタンプラリー

2025年12月19日(金)まで開催中です。専用ステッカーが貼ってある登録店に行って、スタンプを貯めましょう。岐阜県内392店舗が登録中です(9月22日時点)。スタンプがたまったら、抽選に応募して商品券をGETしましょう。



このステッカーが目印！

● ぎふモーニング in ねんりんピック岐阜2025

ねんりんピックの大会期間中に、県内喫茶店のモーニングサービスを県内外の方々に体験してもらい、「ぎふモーニング」の魅力を発信することを目的に、岐阜市内の各会場(岐阜メモリアルセンター・JR岐阜駅北口駅前広場・柳ヶ瀬グラスル35)にブースを出店します。

出店事業者

月日	岐阜メモリアルセンター〔※〕		JR岐阜駅前〔信長ゆめ広場〕		柳ヶ瀬グラスル35〔Gテラス〕	
10/18	サンドイッチとカフェ PANDA (岐阜市)	(18日) 8:00-16:00	CAFÉDE B. C. B. G (岐阜市)	10:00-16:00	café de Volta (岐阜市)	10:00-16:00
10/19	湊珈琲 (岐阜市)		カフェしょぼん大垣店 (大垣市)		mori cafe (岐阜市)	
	やっちゃんのキッチン (岐阜市)	Mini Lover's Café (各務原市)	—			
10/20	glowth coffee (北方町)	10:00-16:00	—	—	—	—
10/21	Mini Lover's Café (各務原市)	10:00-12:00	—	—	—	—

※ 10/18～19はサンサンデッキ、10/20～21は噴水広場で出店します。

その他にも色々なプロジェクトが進行中です！

● ぎふ味(あじ)を堪能！ワクワクパスポート

店舗ごとの特典(割引)をまとめた冊子を約20,000冊制作し、ねんりんピック出場者、大会関係者に配付

● 「#わたしのぎふモーニング」フォトキャンペーン

岐阜県内の喫茶店で提供されるモーニングの写真を、指定のハッシュタグ等を付けてInstagramに投稿した方の中から抽選で賞品をプレゼント

各事業の詳細については、ねんりんピック岐阜2025のホームページよりご確認ください。
<https://nenrin-gifu2025.pref.gifu.lg.jp/morning-project/>



岐阜市

4月15日、岐阜市内の喫茶店を中心とする岐阜市喫茶文化振興協議会が発足。岐阜市は、協議会が実施する事業を支援し、喫茶文化の魅力を発信しています。

● SNS等を活用した魅力発信！

- ・クーポン等が付いた協議会の加盟店マップを作成
- ・Instagramにて、協議会に加盟する喫茶店の推しメニューや、お得なクーポンを随時配信

● その他多数のイベントに加盟店が出店！

- ・10月4日 第2回一宮モーニングマルシェ
開催場所：一宮市本町商店街アーケード内(本町通2・3丁目)
- ・10月5日 長良橋通りトランジットモール社会実験
開催場所：名鉄岐阜駅前
- ・11月1日・2日 ぎふ信長まつり×TVアニメ『小市民シリーズ』
コラボイベント「あおぞら喫茶ぎふde『小市民シリーズ』」開催場所：セントラルパーク金公園



楽しそうなプロジェクトがいっぱい。
皆さんも一緒に、喫茶文化を楽しみましょう。